

大会第1日〔 5月28日（木）〕 10:00～11:30 一般口頭発表

A 会場

気候システムI

座長：萱場 互起（気象庁気候情報）

- A101 力石 國男（弘前大理工） 夏期の日最高気温上昇傾向の地域的差異とその原因
- A102 藤部 文昭（気象研） 都市気温とその経年変化率の曜日依存性
- A103 萱場 互起（気象庁気候情報） 都市気候モデルで用いる人工排熱データの推定及びそれを用いたシミュレーションの試み
- A104 大橋 唯太（岡山理大総合情報） 暑熱環境指数WBGTの長期計測から熱中症リスクをみる－岡山市街地を対象として－
- A105 山内 明子（伊豆研） LFD 異常と海洋環境変異の独立性検定について－伊豆半島周辺を例として－
- A106 鈴木 香寿恵（極地研） 南極氷床への大気輸送経路の年々変動とAAOとの関係
- A107 猪上 淳（IORGC） 再解析データにおける北極漂流ブイデータのインパクト

B 会場

降水システムI

座長：中井 専人（防災科研）

- B101 中井 専人（防災科研） 長岡周辺の降雪予測実験とレーダー・地上観測の比較：2008年2月の事例
- B102 大東 忠保（名大地球水循環） 山陰から北陸に伸びる発達した停滞性降雪バンド
- B103 川島 正行（北大低温研） 寒冷前線降雨帯のコア-ギャップ構造の成因に関する数値実験（3）
- B104 田畑 弾（日大院地球） 栃木県において2008年5月26日に発生した降雹
- B105 吉川 栄一（阪大院工） K u 帯広帯域レーダを用いた低高度における降水分布の解析
- B106 廣川 康隆（気象庁予報） 2007年11月11-12日に青森県で発生した大雨～その1：発生要因について
- B107 奥 勇一郎（京大防災研） 格子点データを用いた極端気象現象事例の抽出方法

大会第1日〔 5月28日（木）〕 10:00～11:30 一般口頭発表

C 会場

エアロゾルI

座長：黒崎 泰典（鳥取大乾燥地研究センター）

- C101 平沢 尚彦（極地研） 南極域におけるエアロゾル数濃度の空間分布
- C102 長田 和雄（名大院環境） 立山・室堂平におけるエアロゾル粒子体積濃度の年々変化：微細粒子濃度の春季増加傾向
- C103 張 代洲（熊本県立大環境共生） 北京市におけるエアロゾルの係留気球観測事例
- C104 上田 紗也子（名大院環境） 辺戸岬で観測されたスス粒子の混合状態と粒径分布
- C105 石塚 正秀（香川大工） 砂礫砂漠と休耕農地における飛砂飛散粒子の臨界摩擦速度
- C106 黒崎 泰典（鳥大乾地研） モンゴルにおける黄砂発生臨界風速－synoptic dataを用いた解析－
- C107 篠田 雅人（乾地研） モンゴル草原における黄砂発生の生物物理過程－2008年集中観測速報－
- C108 三上 正男（気象研） モンゴル草原における黄砂発生の生物物理過程－2008年長期観測速報－

D 会場

観測手法

座長：篠田 太郎（名大地球水循環）

- D101 牛尾 知雄（阪大院工） 高速高分解能Ku帯広帯域レーダネットワークの概念と初期観測結果
- D102 山内 洋（気象研） 気象研究所Cバンド固体素子二重偏波ドップラーレーダー
- D103 篠田 太郎（名大地球水循環） 降水セルの発達段階を客観的に判別するアルゴリズムの開発
- D104 山田 芳則（気象大） 連続の式または質量フラックス保存の式を束縛条件としてRHIデータから鉛直面内の風の場を算出する方法（その2） --- 変分法による内挿処理とスプライン微分の導入 ---
- D105 岩井 宏徳（NICT） デュアルドップラーライダーとヘリコプターにより観測された風速場の比較
- D106 今城 勝治（三菱電機） 1.6 μ m帯CW変調CO₂モニタDIAL地上検証モデルの開発
- D107 内野 修（国環研） カラム平均CO₂混合比（XCO₂）の全球での振る舞いについて
- D108 萩原 雄一朗（東北大院理大気海洋センター） CloudSat/CALIPSO/MODISから得られた高度別雲量の比較

大会第1日〔 5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

A 会場

「グローバルな雲・降水システムの研究の現状と将来」

座長：青梨 和正（気象研）

趣旨説明：沖 理子（JAXA/EORC）

- *A151 久保田 拓志（JAXA/EORC） 複数衛星からの全球降水マップGSMaPでのセンサ複合利用：現状と今後の課題
- *A152 青梨 和正（気象研） GCOM-Wとマイクロ波降水強度リトリーバルアルゴリズムの開発
- *A153 大野 裕一（NICT） EarthCARE衛星による雲・エアロゾル・放射観測
- *A154 笠井 康子（NICT） テラヘルツ波リモートセンシングによる水蒸気と氷雲の観測
- *A155 山中 大学（JAMSTEC-IORGC／神大理） HARIMAUレーダー・プロファイラ網の完成
- *A156 平沢 尚彦（極地研） 南極ドームふじ基地における雲・降水の観測と数値モデリング

休憩

- *A157 山本 宗尚（千葉大CEReS） TRMMデータを用いた降水を伴わない雲の抽出と統計解析
- *A158 古澤 文江（名大地球水循環） TRMM観測と長期再解析JRA-25データによる無降水域の地表面射出率の特性：GPM降水推定への応用に向けて
- *A159 高薮 縁（東大気候システム） 熱帯海上降雨の2モード非断熱加熱構造について
- *A160 岡本 創（東北大院理） CloudSat/CALIPSOによる氷粒子微物理特性の全球解析
- A161 高橋 暢宏（NICT） post-GPMミッション検討について
- *A162 佐藤 正樹（東大気候システム/FRCGC） 全球雲解像モデルと雲・降水衛星観測との連携、赤道周回衛星の提案
- A163 牛尾 知雄（阪大院工） 地球静止軌道からのレーダ観測
- A164 重 尚一（大阪府大院工） 小型衛星搭載降雨レーダのシステム検討
- A165 中村 健治（名大地球水循環） 雲降水システムの構造の観測のためのTrain型衛星システム
- *A166 Jana Mendrok（NICT） Sub-Millimeter Wave Radiometer for Observation of Cloud Ice - Studying Retrieval Capabilities from 2-band Instrument

座長：沖 理子（JAXA/EORC）・高橋 暢宏（NICT）

総合討論

※*の講演は持ち時間12分、その他の講演の持ち時間は7分です。

大会第1日〔 5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

B 会場

「2008年夏季の局地豪雨」

座長：岩波 越（防災科研）

- B151 岩崎 博之（群馬大教育） AMeDASデータを用いた強雨の経年変化の解析 --- 山岳と強雨増加の関係 ---
- B152 小司 禎教（気象研） GPS可降水量と降水の統計的關係
- B153 中山 秀晃（気象予報士会） 予報士情報とWeb2.0を活用した局地豪雨対策への試み
- B154 齋藤 仁（首都大院） 土壌雨量指数を用いた平成20年8月末豪雨の解析―東京都八王子市の事例―
- B155 高橋 日出男（首都大地理） 2008年8月5日の東京都区部短時間強雨時における地上風の発散量時間変化
- B156 真木 雅之（防災科研） 2008年8月5日東京都豊島区雑司が谷付近で発生した局地的豪雨―Xバンドマルチパラメータレーダによる観測結果―
- B157 石原 正仁（気象研） 気象庁現業レーダーによる局地的大雨の監視の現状と展望

休憩

座長：川畑 拓矢（気象研）

- B158 日下 博幸（筑波大計算科学） 都市が降水におよぼす影響―評価手法に関する現状と課題―
- B159 斉藤 和雄（気象研） 2008年夏季の日本域アンサンブル予報実験
- B160 津口 裕茂（気象庁数値予報） 2008年7月28日の兵庫県の大雨 ～MSMの予測失敗の原因～
- B161 瀬古 弘（気象研） LETKFを用いた日本域の豪雨再現実験
- B162 竹見 哲也（京大防災研） 高分解能地形表現による局所的強雨のモデル解析：2008年7月28日兵庫県南部豪雨の事例
- B163 氏家 将志（気象庁数値予報） 高分解能局地モデルによる夏季の局地的豪雨の予測
- B164 川畑 拓矢（気象研） 豊島区雑司が谷豪雨に関するデータ同化実験

座長：斉藤 和雄・石原 正仁（気象研）

総合討論

※各講演の持ち時間は12分です。

大会第1日〔 5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

C 会場

「民間航空機が拓く新しい大気観測とそのデータ利用」

座長：松枝 秀和（気象研）

趣旨説明：町田 敏暢（環境研）

- C151 Kaz Higuchi (York Univ.) The Importance and Usefulness of Tropospheric Measurements in Enhancing Our Understanding of the Global Carbon Cycle [招待講演]
- C152 中澤 高清（東北大院理） 民間定期航空機を利用した温室効果気体の観測 [招待講演]
- C153 町田 敏暢（環境研） CONTRAILプロジェクトの概要と観測されたCO₂濃度の時空間分布
- C154 澤 庸介（気象研） 定期旅客便観測データを利用した圏界面付近のCO₂動態の解析

休憩

座長：澤 庸介（気象研）

- C155 丹羽 洋介（東大気候システム） 上部対流圏におけるCO₂濃度の緯度別変動
- C156 梅澤 拓（東北大院理） 定期航空機と船舶による西太平洋対流圏におけるメタン濃度と炭素/水素安定同位体比の観測
- C157 石島 健太郎（FRCGC） 地表－上部対流圏における大気中一酸化二窒素濃度の季節変動～ 航空機観測およびモデル計算結果の解析 ～
- C158 八代 尚（FRCGC） 日本上空における大気中一酸化炭素および水素濃度の変動：航空機による観測とモデルによる再現

休憩

座長：町田 敏暢（環境研）

- C159 丹羽 洋介（東大気候システム） CONTRAIL Transport Model Intercomparison: CO₂濃度の高度別変動
- C160 Prabir Patra (FRCGC) CONTRAIL Transport Model Intercomparison: Simulation of CO₂ concentration in the UT/LS region
- C161 眞木 貴史（気象庁環境気象） 輸送モデルにおける鉛直輸送過程の評価検証について
- C162 田口 彰一（産総研） CONTRAILデータを用いた週単位CO₂フラックスの推定

※各講演の持ち時間は15分です。

大会第1日〔 5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

D 会場

「広域スケールの大気-陸域間の相互作用と気候変動」

座長：馬淵 和雄（気象研）

趣旨説明：伊藤 昭彦（環境研）

*D151 浅沼 順（筑波大陸域環境） モンゴル半乾燥域における陸面プロセスの観測とモデル研究 [招待講演]

D152 中野 智子（首都大都市環境） モンゴル半乾燥草原におけるCO₂交換の時空間分布推定に向けて

D153 庭野 匡思（気象研） 札幌における冬季雪面熱収支

休憩

座長：伊藤 昭彦（環境研）

D154 馬淵 和雄（気象研） B A I M 2を導入した全球気候モデルにより再現された陸域炭素収支の季節変化の特徴

D155 伊勢 武史（FRCGC） サブグリッドスケールの地表の多様性を広域生態系モデルで扱う：北方林におけるケーススタディ

D156 市井 和仁（福島大理工） 陸域生物圏モデル相互比較への試み: Japan-MIPからAsia-MIPへ

総合討論

※*の講演は招待講演で持ち時間30分，その他の講演の持ち時間は20分です。

大会第2日〔 5月29日（金）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

熱帯大気

座長：佐藤 正樹（東大気候システム）

- A201 那須野 智江（FRCGC） 全球非静力学水惑星数値実験における雲内鉛直流
- A202 黒田 徹（気象研） ミャンマーサイクロンNargisと高潮の数値シミュレーション（2）アンサンブル予報実験
- A203 荒金 匠（東大気候システム） 台風0616に生じた爆発的対流に関する数値的研究
- A204 山田 広幸（IORGC） 台風0806号（Fengshen）の発生過程に関する観測と数値実験
- A205 村田 昭彦（気象研） 高解像度非静力学モデルによる台風0815号の発生過程の解析
- A206 吉野 純（岐阜大院工） 現在・将来気候における伊勢湾の可能最大高潮・波浪の評価
- A207 星野 俊介（気象研） Rapid Scanによる詳細大気追跡風データの台風解析への利用（序報）
- A208 上野 充（気象研） 環境風の鉛直シアーと台風コア域内地上風分布
- A209 吉崎 正憲（IORGC） マッデン・ジュリアン振動の発現メカニズム

B 会場

降水システムII

座長：楠 研一（気象研）

- B201 楠 研一（気象研） 2007年12月5日庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱
- B202 益子 渉（気象研） 2008年1月25日 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱（I）—数値シミュレーションによる解析（序報）—
- B203 楠 研一（気象研） 2008年1月25日庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱（II）—渦の特徴—
- B204 別所 康太郎（気象研） 突風環境下における高層ゾンデ連続観測 —概要—
- B205 谷脇 和博（高知大理） 庄内平野における突風の条件付抽出と統計解析
- B206 小林 文明（防大地球） 2008年12月5日寒冷前線通過時に横浜で発生した竜巻
- B207 鈴木 修（気象研） 2007,2008年の竜巻等突風の発生の特徴—気象庁データベースを用いた速報解析—
- B208 下瀬 健一（九大院理） 現実場を用いた竜巻発生の数値シミュレーション Part I：竜巻の発生過程

大会第2日〔 5月29日（金）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

C 会場

大気境界層I

座長：児玉 安正（弘前大院理工）

- C201 石 睿（愛媛大院理工） Numerical simulation of Sea/Land breeze in western Seto Inland Sea
- C202 牛山 朋来（農環研） 防風ネットによるとうもろこし交雑抑制効果の数値シミュレーション
- C203 大野 洋（京大防災研） 自然対流時に生じる下層の微細渦の強化・維持メカニズムの解析
- C204 岩井 宏徳（NICT） 東京都市域における海風前線の立体構造（2）
- C205 佐藤 晋介（NICT） 400MHz帯WPR/RASSによる冬季沖縄の大気境界層の観測
- C206 藤原 忠誠（北大院環境科学） ドップラーライダーで検出したDust devilの特徴
- C207 伊藤 純至（東大海洋研） 対流混合層内に生成される鉛直渦度のスケーリング
- C208 児玉 安正（弘前大院理工） 三陸沖で観測されたヤマセの鉛直構造とヤマセの流跡線の関係
- C209 山野 満男（防大地球海洋） 上空への顕熱輸送に対する都市内気流構造の役割

D 会場

エアロゾルII

座長：兼保 直樹（産総研）

- D201 鶴田 治雄（東大気候システム） ピマイ（タイ）における大気エアロゾルの化学組成と光学特性
- D202 兼保 直樹（産総研） TSIおよびRadiance積分型ネフェロメータによる粗大粒子の観測
- D203 青木 輝夫（気象研） フィルタ上エアロゾルサンプルの複素屈折率虚数部の測定
- D204 大島 長（東大先端研） エアロゾル光学特性・雲凝結核特性とブラックカーボンの粒径分布との関係
- D205 直江 寛明（気象研） 大気煤粒子の混合状態とその光吸収特性に及ぼす影響について
- D206 石元 裕史（気象研） 放射計算のためのスス粒子モデルの作成
- D207 梶野 瑞王（東大先端研） エアロゾルの化学組成，粒径分布，混合状態，形状を考慮した対流圏マルチスケール化学輸送モデルEMTACSの開発
- D208 松井 仁志（東大院理） 3次元モデルを用いた北京周辺域におけるエアロゾルの光学特性の変動過程に関する研究
- D209 須藤 健悟（名大院環境） MAX-DOAS観測を用いた全球化学・エアロゾル気候モデルの評価
- D210 及川 栄治（東大気候システム） CALIPSOデータおよびGCMシミュレーションによる曇天域のエアロゾル直接効果に関する研究

大会第3日〔 5月30日（土）〕 9:30～11:00 一般口頭発表

A 会場

気候システムII

座長：金田 幸恵（AESTO/気象研）

- A301 二宮 洸三（FRCGC） 5～7月のメイユ・梅雨前線降水帯の再現性についてのモデル相互比較【OHP使用予定】
- A302 楠 昌司（気象研） 20km格子全球大気モデルによる近未来の梅雨変化
- A303 金田 幸恵（AESTO/気象研） 水平解像度5km/2km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験 全球大気モデル実験を境界値に用いた予備実験：NHM5kmからNHM2kmへ
- A304 市川 裕樹（名大院環境） CMIP3マルチモデルにおける熱帯対流活動に伴う雲の放射影響力の再現性
- A305 西井 和晃（東大院理） CMIP3マルチ気候モデルにおける冬季極東域ストームトラック活動の再現性およびその春一番の発生日との関係
- A306 大島 和裕（北大地球環境） CMIP3気候モデルにおける北太平洋10年規模変動の将来予測
- A307 塩竈 秀夫（国環研） 降水量変化予測と水資源影響評価の排出シナリオ依存性

B 会場

降水システムIII

座長：加藤 輝之（気象研）

- B301 川畑 拓矢（気象研） RASS観測データを用いた沖縄本島における小規模降水帯の同化・予報実験
- B302 竹見 哲也（京大防災研） スコールラインの強度に及ぼす浮力プロファイルの影響
- B303 加藤 輝之（気象研） 下層水蒸気場を表現する高度について～気圧面から絶対高度の気象学へ～
- B304 加藤 輝之（気象研） SiBを用いた2005年度冬季の積雪量予想実験
- B305 渡邊 明（福島大理工） 降雪システムの水蒸気量依存性
- B306 藤井 聡（気象予報士会） 東京の「雪型」についての考察
- B307 加藤 順子（気象予報士会） 気象鑑定の現状と課題 ―『御殿場事件』の裁判を通して見た課題―

大会第3日〔 5月30日（土）〕 9:30～11:00 一般口頭発表

C 会場

気象予報

座長：小森 拓也（気象庁数値予報）

- C301 宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報） 気象庁全球大気モデルの再構築
- C302 小森 拓也（気象庁数値予報） 台風周辺で求まる特異ベクトルの特性調査 ～T-PARCにおける台風特別観測の事例解析～
- C303 國井 勝（気象研） メソ特異ベクトル法を用いた感度解析
- C304 松枝 未遠（AESTO/MRI） 現業中期アンサンブル予報におけるブロッキング現象の予測可能性
- C305 三好 建正（メリーランド大大気海洋） SPEEDYモデルを使った並列LETKFプログラムの開発
- C306 田中 博（筑波大CCS） カルマンフィルタを用いた順圧Sモデルのバイアス補正
- C307 青梨 和正（気象研） マイクロ波輝度温度の非静力雲解像モデルへの同化のためのNeighboring Ensemble法
- C308 伊藤 耕介（京大院理） 台風状況下の海面フラックス：感度実験とアジョイント法による推定

D 会場

中層大気・対流圏界面

座長：鈴木 順子（IORGC）

- D301 西本 絵梨子（京大生存研） モンスーン時期の対流活動と関係した対流圏界面付近における温度構造
- D302 妻鹿 友昭（京大生存研） 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏界面の高解像度乱流観測
- D303 鈴木 順子（IORGC） 熱帯上部対流圏から対流圏界面領域の高度ごとにみた赤道ケルビン波の出現から消失の特徴
- D304 西村 八代（総研大） オゾンゾンデ観測データによる極域対流圏界面と対流圏界面逆転層の研究
- D305 中島 英彰（環境研） 南極昭和基地における2007年オゾン破壊量とPSCの関係（2）
- D306 富川 喜弘（極地研） 中間圏一日潮汐波による運動量輸送

大会第4日〔 5月31日（日）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

大気力学・中高緯度大気

座長：堀田 大介（気象庁数値予報）

- A401 齊藤 洋一（元東大海洋研） 水平粘性を考慮した臨界層不安定
- A402 森川 靖大（北大院理） 階層的数値モデルのためのデータ入出力ライブラリ Gtool5 の設計と開発
- A403 池田 恒平（東大気候システム） 金星大気放射伝達モデルの開発
- A404 高木 征弘（東大院理） 金星大気の放射伝達モデルの開発（2）
- A405 山下 達也（北大院理） 大気主成分の凝結を考慮した二次元湿潤対流の基礎的数値実験
- A406 遊馬 芳雄（琉球大理） Winter T-PARC概要紹介（速報）
- A407 堀田 大介（気象庁数値予報） 全球モデルの陸面過程の変更に対する大気場の力学的応答～ストームトラックを介した遠隔影響の可能性について～
- A408 稲津 将（北大院理） 北半球冬季の北東アジアにおけるスケール間相互作用研究（2）亜総観規模山岳の効果
- A409 山崎 哲（九大院理） ブロッキングの持続メカニズムに関する観測的・数値的研究
- A410 土屋 主税（東大院理） 全球非静力学モデルデータを用いた広帯域周波数スペクトルの普遍性の研究

B 会場

降水システムIV

座長：山下 克也（気象研）

- B401 村上 正隆（気象研） 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性（その1）
- B402 山下 克也（気象研） 人工降雨シーディング用吸湿性粒子の雲凝結核特性（その2）
- B403 田尻 拓也（気象研） MRI雲生成チェンバーによる吸湿性シーディング実験（その3）～ フレアー法 ～
- B404 小池 克征（いであ（株）） 山岳の風下側の降雪分布に関する一考察
- B405 伊ヶ崎 英雄（気象協会） 人工降雨実験観測データを用いた人工降雨有効雲の定性的判定法の試み
- B406 橋本 明弘（気象研） 雲シーディングのための各種散布物質の有効性評価
- B407 山田 芳則（気象大） ひょうをもたらした積乱雲の内部構造に関するドップラーレーダー解析
- B408 中野 藤之（阪大院工） 非静力学モデル（NHM）により予報された雲微物理量を用いた雷放電予測モデルの構築
- B409 吉川 友章（東京理科大理） 特定波長の赤外線照射による霧粒の挙動と消霧システムへの応用 [OHP使用予定]

大会第4日〔 5月31日（日）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

C 会場

大気境界層II

座長：寺尾 徹（香川大教育）

- C401 重田 祥範（岡大院自然科学） 大規模緑地で発生するクールアイランド現象 -大阪城公園-
- C402 重田 祥範（岡大院自然科学） 夏季晴天日に都市中心部で発生するクールアイランド現象-地上気象観測と上空からの熱赤外画像による解析-
- C403 高橋 一之（都環科研／首都大都市環境） 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係（第3報）—静力学平衡を仮定して補正した夜間の気圧分布—
- C404 飯澤 功（京都堀川高校） 都市の熱慣性が決定するヒートアイランド循環の時間発展
- C405 大西 将徳（京大院人間環境） 日食時の気温変化と都市と郊外の熱慣性
- C406 酒井 敏（京大院人間環境） 樹冠遮断蒸発とフラクタル次元
- C407 中村 美紀（京大院人間環境） フラクタル人工樹木の実験結果
- C408 大橋 唯太（岡山理大総合情報） 広島県三次盆地で発生する大規模霧
- C409 寺尾 徹（香川大教育） やまじ風に付随して発生する風の乱れ現象の定量的評価

D 会場

台風

座長：和田 章義（気象研）

- D401 山下 浩史（気象庁数値予報） 2008年台風第13号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価（第1報）
- D402 太田 洋一郎（気象庁数値予報） 2008年台風第15号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価
- D403 杉 正人（気象研） 解像度の異なるモデルによる台風の発生過程のシミュレーション
- D404 山岬 正紀（FRCGC） 大規模渦に伴う台風の発生に関する数値実験（東風の効果）
- D405 筆保 弘徳（IPRC） 全球非静力モデルで再現された台風発生メカニズム
- D406 和田 章義（気象研） 台風発達期における台風Hai-Tang（2005）と海洋との相互作用
- D407 日置 智仁（名大地球水循環） 雲解像モデルで再現された発達する台風の暖気核の形成プロセス
- D408 吉田 健二（九大院理） 梅雨期における九州地方の大雨事例に対する台風の遠隔影響
- D409 出世 ゆかり（名大地球水循環） 台風0704号におけるCOBRA偏波パラメータと降水粒子分布特性

大会第4日〔 5月31日（日）〕 13:30～17:00 専門分科会

B 会場

「GPS気象学と衛星観測データの利用」

座長：小司 禎教（気象研）

趣旨説明：瀬古 弘（気象研）

**B451 Ying-Hwa Kuo (UCAR) Applications of COSMIC GPS RO data to weather, climate, and ionosphere and the planning of COSMIC-II [招待講演]

**B452 Jens Wickert (GFZ) GPS Radio Occultation: Introduction, Results from CHAMP and Recent Developments [招待講演]

休憩

座長：市川 隆一（NICT）

*B453 小司 禎教（気象研） 日本型「GPS気象学」の進展 [招待講演]

B454 西 憲敬（京大院理） COSMIC掩蔽法を用いた熱帯対流圏の成層構造解析

B455 小澤 英司（気象庁数値予報） 気象庁全球実験システムによるGPS掩蔽観測同化実験

B456 國井 勝（気象研） Mesoscale Data Assimilation Experiment in Low Latitudes with GPS RO data

休憩

座長：瀬古 弘（気象研）

B457 林 稔（Hitz） GPS連続観測システムの概要と気象研究への展開

B458 吉本 浩一（気象庁） GPS可降水量を用いたインデックスの開発

B459 市川 隆一（NICT） 気象庁メソスケール客観解析データによる大気遅延除去のための高速計算ツールの開発

B460 Thomas Hobiger (NICT) Numerical Weather Models for the Correction of Troposphere Delays of Space Geodetic Techniques - Prerequisites and Applications

ポスター講演（講演は大会第4日[5月31日（日）]のポスター・セッションにて行われます）

P441 津田 敏隆（京大生存研） Retrieval of High Vertical Resolution Atmospheric Profiles from GPS Radio Occultation Measurements

P442 瀬古 弘（気象研） Data assimilation experiments of 'YAMASE' using GPS RO data

※**の講演は持ち時間40分，*の講演は持ち時間20分，その他の講演の持ち時間は12分です。

大会第4日〔 5月31日（日）〕 13:30～17:00 一般口頭発表

C 会場

気候システムIII

座長： 渡部 雅浩（東大気候システム）

- C451 坂下 幸嗣（東北大院環境） 北半球冬季気温における1980年代後半のレジーム・シフト
- C452 立花 義裕（三重大/JAMSTEC） 日本の降雪の長期変動に及ぼす、中緯度海洋とSiberian-Japan pattern双方の影響
- C453 廣田 渚郎（東大気候システム） 夏季東アジア域に見られる3極気候偏差の形成プロセスに関する研究
- C454 三瓶 岳昭（ハワイ大IPRC） 大規模場の力学から見た梅雨前線の形成について
- C455 渡部 雅浩（東大気候システム） 夏季アジアジェット上に見られる卓越変動の強制過程：NLBMを用いた数値実験
- C456 谷貝 勇（気象大） 太平洋数十年規模振動（PDO）の影響を受ける日本の夏期について
- C457 山島 亮二（首都大都市環境） 1700年から1850年にかけて進行した耕地化がアジアモンスーンの開始・終了に及ぼした影響
- C458 栗原 和夫（気象研） JMA-NHMによるインドの強雨の再現可能性
- C459 谷田貝 亜紀代（地球研） ヒマラヤ山脈周辺の降水量の定量評価
- C460 海田 俊輝（岩手県大ソフト） 2変数ベクトル自己回帰分析によるインドネシア・マルク地区農業収穫量予測モデル
- C461 宗本 政紀（三重大生資） サヘルの降水量を増加に転じさせた全球SSTの南北両半球間のダイポール

座長： 村上 茂教（FRCGC）

- C462 足立 恭将（気象研） 海面表層スキームの全球大気モデルへの導入とそのインパクト実験
- C463 吉村 裕正（気象研） エントレインメント率に幅を持たせたセミラグランジュ積雲スキーム
- C464 中塚 武（名大院環境） 樹木年輪の酸素同位体比を用いたオホーツク高気圧の経年変動の復元
- C465 吉森 正和（東大気候システム） 放射カーネルを用いた気候フィードバック解析について
- C466 村上 茂教（FRCGC） 氷期気候系のエネルギー論・その2

大会第1日 [5月28日 (木)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

[キーワード:物質循環システム・大気境界層・気象予報・環境気象 他]

- P101 間瀬 博文 放射線と磁場を捉えた、竜巻・積乱雲を再現した室内実験
- P102 平松 章男 (北陸先端大知識) 異常天候早期警戒情報を利用した提供商品の意思決定について
- P103 大門 禎広 (気象予報士会) 青空の放射温度
- P104 金久 博忠 (気象大) g と f が鈍角をなす場合の対称不安定
- P105 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) 順圧S-model-LETKFによる局所化の影響調査
- P106 高橋 桂子 (JAMSTEC) MSSGへの適応型動的格子(AMR)の実装と計算性能
- P107 大泉 三津夫 (気象研) 地域気候モデルとしてのJMANHMの可変地表面被覆のインパクト
- P108 寺崎 康児 (筑波大院生命環境) スペクトル空間で見る次世代大気モデルNICAMの特徴
- P109 森 和広 (筑波大学自然学類) 気象庁全球 η 面ガウス解析値を用いたNICAMによる週間予報実験
- P110 田中 博 (筑波大CCS) 筑波大学CCSに移植したNICAMによる北極低気圧の数値実験
- P111 野中 善政 (宮崎大教文) 局所風況予測システム (LAWEPS) を利用した海塩濃度シミュレーションについて
- P112 門倉 真二 (電中研) 統計的手法による気象要素の確率密度推定—九州の豪雨—
- P113 猪上 華子 (気象研) 2007年12月31日 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱
- P114 渡辺 貴典 (首都大都市環境) 阿蘇山周辺の風向がまっぼり風発生に与える影響に関する数値解析
- P115 五十嵐 咲恵 (防衛大地球海洋) 冬季東北南部太平洋側における強風の出現特性
- P116 柴田 有紀子 (富山大理) 盛夏季の北陸地方で発生するフェーンの特徴と大規模循環場の影響について
- P117 沢田 雅洋 (東北大院理) 蔵王おろしに伴った非定常な風の場合に関する数値実験
- P118 清野 直子 (気象研) 気象庁屋上における放射収支観測
- P119 中川 清隆 (立正大地球環境) ダブルトランシット法によって決定されるパイバル高度の特徴
- P120 稲垣 厚至 (東工大) 接地境界層における組織乱流の平均構造
- P121 藤原 忠誠 (北大院環境科学) 海風前線上に発生したDust devilのドップラーライダー観測
- P122 瀬戸 芳一 (首都大院都市環境) 収束・発散場から見た関東平野における夏季の局地風循環
- P123 佐野 亜都子 (岡山理大院総合情報) 大阪湾からの海風侵入に伴う奈良盆地の昇温について
- P124 小田 僚子 (東工大院理工) 東京湾の海表面温度変化が都市気温に及ぼす影響の数値解析的検討
- P125 瀧本 浩史 (東工大院理工) 屋外および風洞における都市キャノピー流れのPIV計測
- P126 森脇 亮 (愛媛大工) 松山平野におけるヒートアイランドの実態
- P127 福原 ゆかり (首都大都市環境) 東京都心の大規模緑地がもたらす気温緩和効果—メソ気象モデルを用いて—
- P128 大久保 さゆり (首都大都市環境) 大気環境常時監視データによる国内のSPM (浮遊粒子状物質) 濃度の長期変動
- P129 工藤 玲 (気象研) つくばのエアロゾル光学特性と地上放射強制力の最近10年間の変化傾向
- P130 猪股 弥生 (気象研) つくばにおけるダスト沈着量の季節・年々変動: アジア大陸におけるダスト放出量変動との関連
- P131 高橋 宙 (気象研) 黄砂時における粗大エアロゾル粒子の混合状態と吸湿特性
- P132 財前 祐二 (気象研) 乾燥大気中における煤と硫酸塩の内部混合エアロゾル粒子
- P133 筈野 倫弘 (岡山理大総情) 岡山県牛窓における海水中二酸化炭素の測定— pCO_2 の季節変化—
- P134 小田 知宏 (環境研) 近畿地方を対象とした地域スケール CO_2 ソース/シンク推定: オイラー・ラグランジアン結合モデルを用いた領域外部からの貢献の考慮

- P135 佐伯 田鶴（環境研）高分解能全球輸送モデルを用いた大気中メタン濃度の数値実験
- P136 藤田 建（気象庁環境気象）気象庁二酸化炭素分布情報の提供
- P137 高瀬 健太郎（名大院環境）衛星観測・化学輸送モデルによる全球対流圏COの解析
- P138 詹 博硯（名大院環境）火山起源SO₂の輸送経路及び化学過程の再現シミュレーション
- P139 渡辺 幸一（富山県立大学）ヘリコプターを利用した富山県上空の微量気体成分およびエアロゾル粒子個数濃度の観測
- P140 黒川 純一（環境研）日本の春季オゾン濃度年々変動に対する気象場の影響
- P141 佐伯 浩介（東北大院）FTIRを用いた南極昭和基地による2007年オゾンホール観測(2)
- P142 新藤 永樹（気象研）地球温暖化に伴う中緯度擾乱活動の変化について

大会第2日 〔 5月29日（金） 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

〔 キーワード:物質循環システム・大気境界層・気象予報・環境気象 他 〕

- P201 高橋 庸哉（北教大札幌）地球温暖化や雪の結晶を扱う小学生用ワークシートの開発
- P202 上野 健一（筑波大院生命環境）CEOPつくばリファレンスサイトの開設
- P203 仲吉 信人（東工大院理工）ラグランジュアン人間気象学の提案
- P204 金久 博忠（気象大）重力波の鉛直伝播の解析解
- P205 板野 稔久（防衛大地球海洋）対称不安定における惑星渦度の水平成分の影響(その2)
- P206 高橋 桂子（JAMSTEC）MSSGの移流計算精度と物理性能へのインパクト
- P207 近藤 圭一（筑波大院生命環境）NICAM-LETKFに膨張係数および観測誤差の動的推定を適応したデータ同化実験
- P208 大矢 麻奈未（筑波大自然科学類）WRFを用いた日本海沿岸の降雪シミュレーション：雲物理モデルの影響評価
- P209 中村 誠臣（気象研）関東域での夏季不安定降水のNHMによる再現性の評価 II
- P210 林 修吾（気象研）東南アジア域および日本域におけるNHMとWRF-ARWによる短期予報の統計的精度検証 水平解像度20kmモデルと1wayネストした5kmモデルでの結果
- P211 小山 博司（北大院環境）EnKFを用いたパラメータ同化による1か月予報の精度向上
- P212 朝倉 利員（NIFTS）広範囲に適用できるサクラの新しい満開日予測法
- P213 蒲生 稔（産総研）中高緯度落葉樹林帯における葉のフェノロジーの水平・経年変化
- P214 Guangming Xue（岐阜大）非静力学メソ気象モデルによる高山常緑針葉樹林サイト周辺の気流解析
- P215 石崎 紀子（気象研）NHRCMを用いたフェーン現象の熱量解析
- P216 西川 将典（名大院環境）中国・黄土高原南部における日最大混合層高度の日々変化 ― 総観場と積雲生成に着目して ―
- P217 堀口 光章（京大防災研）大気境界層における乱流構造一つくばにおける観測の解析―
- P218 萩野谷 成徳（気象研）館野の鉄塔データから推定した粗度長の長期変動
- P219 村上 雅則（筑波大院生命環境）夏季におけるAMeDASの気温観測値と観測点近傍における多点集中観測との比較
- P220 近藤 由美（東工大院）北米西南部チワワ砂漠における飛砂発生メカニズムのモデリング
- P221 糟谷 司（富山大院理工）中国・四国地方の夏季静穏日におけるGPS可降水量の日変化
- P222 久田 由紀子（九大総理工）福岡平野に生起する海風の特性
- P223 上地 孝佳（九大院総理工）福岡都市圏の海風侵入特性と土地利用形態の関係
- P224 中川 清隆（立正大地球環境）2008年通年観測結果に認められる夜間における埼玉県熊谷市の都市ヒートアイランド強度と郊外接地逆転強度の関係
- P225 大和 広明（首都大都市環境）夏季の南関東における海風と気温変化の関係
- P226 渡来 靖（立正大地球環境科学）細密土地利用データの作成とそれを利用した熊谷市街地ヒートアイランドの数値シミュレーションの試み
- P227 佐藤 昇（大阪府教育センター）大阪でのヒートアイランドの観測（その2）
- P228 中山 智喜（名大STE研）二次有機エアロゾルはBrownCarbonとなりうるか？：光学特性の実験的研究
- P229 中山 智喜（名大STE研）夏季東京都心におけるエアロゾル光学特性と化学特性の同時観測
- P230 日比野 真弓（奈良女子大）リモートセンシングデータと直接サンプリングデータを用いた、黄砂観測時におけるエアロゾルの特徴
- P231 三浦 和彦（東京理科大理）富士山頂および太郎坊におけるエアロゾルの粒径分布と元素分析

- P232 松木 篤（金沢大学 フロンティアサイエンス機構）西アフリカ上空における大気エアロゾルの物理・化学的特性：2006年夏AMMA航空機集中観測から
- P233 村山 昌平（産総研）飛騨高山サイトにおける大気中ラドン及びCO₂濃度の観測
- P234 長谷部 文雄（北大院地球環境）データ同化を利用した流跡線計算高精度化の試み
- P235 江口 菜穂（環境研）GOSAT 観測データ精度向上のための NIES 輸送モデル CO₂ データの検証
- P236 齊藤 誠（環境研）再解析降水量データの誤差と全球炭素収支の関係
- P237 古賀 聖治（産総研）ペルム紀末における硫化水素の大量放出に伴う大気酸素濃度の急減
- P238 鈴木 孝（福島大理工）地球システム統合モデルにおける陸域植生炭素循環サブモデルの評価
- P239 伊藤 和貴（気象庁環境気象）地上オゾン濃度予測への利用に向けた気象研究所化学気候モデルの検証
- P240 関谷 高志（名大院・環境学）全球対流圏オゾン分布の変動要因：気象場の変動が及ぼす影響の解析
- P241 田中 実（気象研）20世紀における日本付近の冬の気温とアリューシャン低気圧（PDO）・ENSOの関係
- P242 下瀬 健一（九大院理）現実場を用いた竜巻発生の数値シミュレーション Part II：大気摩擦層環境の重要性

大会第3日 〔 5月30日（土） 〕 11:00～12:00 ポスター・セッション

〔 キーワード:気候システム・降水システム・観測手法・熱帯大気 他 〕

- P301 高橋 庸哉（北教大札幌）鉛直過冷却雲風洞による樹枝状雪結晶成長のハイビジョン撮影
- P302 林 政彦（福岡大理）-50～-80℃, 100Paで形成された微小氷晶の形態と成長
- P303 朽木 勝幸（気象研）分光アルベドを用いた積雪中黒色炭素・ダスト濃度の推定
- P304 瀬瀬 丈晴（名大地球水循環）名大マルチパラメータレーダー観測データを用いた降水粒子判別の試行
- P305 遠藤 伸彦（IORGC）海洋大陸におけるAIRS可降水量とGPS可降水量の相互比較
- P306 佐藤 可織（JAXA/EORC）雲レーダ・ライダー／衛星観測データ及び気候モデルを用いた雲微物理特性の再現性に関する研究
- P307 増田 一彦（気象研）ハイパースペクトル赤外サウンダとマイクロ波サウンダの複合利用
- P308 飯田 泰久（JAXA EORC）TRMM衛星搭載降雨レーダで観測された月平均降雨量のサンプリングエラーを考慮した長期トレンドの検出
- P309 足立 アホロ（気象研）1.3GHzウィンドプロファイラーによる雨滴粒径分布の抽出（第2報）
- P310 高野 哲夫（気象予報士会）新潟県上越地方のフェーンに伴う高温域発生の数値シミュレーション-2008年05月04日09時の事例解析-
- P311 石田 祐宣（弘前大院理工）2007年に八甲田山系猿倉岳で発生した突風の発生原因推定
- P312 山崎 麻未（高知大院）多重竜巻内部の速度分布計測
- P313 田畑 弾（日大・院・地球）1979年～2008年7月の群馬県における降雹時の総観・メソ特性
- P314 道本 光一郎（防衛大）小松空港におけるドップラーレーダーによる突風事例解析
- P315 久田 由紀子（九大総理工）2003年7月19日に福岡で発生した豪雨の再現
- P316 篠田 太郎（名大地球水循環）2008年8月28～29日に愛知県周辺に激しい降水をもたらした降水システムの構造 ～ その1: マルチパラメータレーダを用いた解析結果～
- P317 加藤 雅也（名大水循環）2008年8月28～29日に愛知県周辺に激しい降水をもたらした降水システムの構造 ～その2: 雲解像モデル CReSS を用いた解析結果～
- P318 梶本 英伍（九大院理）梅雨前線帯の低気圧の発達過程
- P319 西脇 夏樹（筑波大院生命環境）地形による降雨強度の増加とレーダーエコーの移動速度の関係
- P320 Prasamsa Singh（名大院環境）Diurnal Variation of Summer Precipitation over the Central Tibetan Plateau
- P321 足立 幸穂（筑波大院生命環境）東アジアにおける低気圧活動の経年変化
- P322 早崎 将光（千葉大CEReS）日本付近の低気圧活動の年々変動
- P323 根本 由紀子（気象予報士会）東京冬の気温と降水量の関係
- P324 川合 秀明（気象庁気候情報）海洋性境界層雲の鉛直積算雲水量の確率密度分布 Part I: 地理的変動、季節変化、及び決定気象要因
- P325 越田 智喜（いであ）渇水被害軽減のため、人工降雨の可能性のある雲の出現状況
- P326 釜堀 弘隆（気象研）2008年夏期循環場と南西諸島の少雨
- P327 永田 玲奈（お茶大）北太平洋高気圧の数十年規模変動と日本の気温との関係
- P328 福島 あずさ（首都大都市環境）インドにおける季節降水量の長期変動のその地域特性
- P329 山本 勝（九大応力研）海洋データ同化SSTを用いた日本海域の気象シミュレーション
- P330 遠藤 洋和（気象研）CMIP3マルチモデルにおける熱帯対流圏上層の定在波とウォーカー循環の強さの関係
- P331 可知 美佐子（JAXA/EORC）衛星データの陸面水循環シミュレーション・システムにおける利用に向けて

- P332 松枝 未遠 (AESTO/MRI) 近未来気候実験における北半球冬季ブロッキング現象の出現頻度とその不確実性
- P333 村崎 万代 (気象研) SSTの高分解能化が日本域の気候再現実験に与える影響
- P334 保坂 征宏 (気象研) 陸面モデル HAL の開発
- P335 山浦 大和 (筑波大院生命環境) 陸面過程データセットを用いたモンゴル周辺域における陸面水収支の解明
- P336 中野 満寿男 (AESTO) 日本に接近する台風の将来変化
- P337 増山 啓 (東京海上研究所) 環境場データを用いた台風の発生・経路の推定について
- P338 吉田 龍二 (京大防災研) 台風発生の環境場とメソ対流系の併合の関係
- P339 柳瀬 亘 (東大気候システム) 台風Fengshen(2008)の発生過程のシミュレーション
- P340 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) A-trainで観測された深い対流
- P341 鈴木 順子 (IORGC) MISMO期間のインド洋上空にみられる赤道ケルビン波が背景場に与える影響
- P342 梅津 浩典 (九大院・理) Madden-Julian振動の中高緯度成層圏への影響

大会第4日 〔 5月31日（日） 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

〔 キーワード:気候システム・降水システム・観測手法・熱帯大気 他 〕

- P401 Jana Mendrok (NICT) Ice cloud observations by submillimeter limb sounder SMILES — a sensitivity study
- P402 斎藤 篤思 (気象研) ダム集水域における固形降水の精確な計量 (その2)
- P403 森谷 祐介 (京大生存研) イメージング・ウィンドプロファイラーの開発
- P404 稲飯 洋一 (北大環境科学) GPS高度データの利用によるラジオゾンデ気圧気温データの補正
- P405 田中 創 (気象協会) 高時間分解能リアルタイムGPS可降水量解析データを用いた降水ナウキャスト予測への利用可能性の検討
- P406 岩渕 弘信 (JAMSTEC) 光学観測のための放射伝達モデルJACOSPAR: (2) 赤外への拡張と計算効率の改良
- P407 佐藤 一敏 (NGS) RTNetを用いたリアルタイムGPS可降水量解析システムの構築と精度検証
- P408 柏浦 徹 (筑波大第一) 超音波積雪深計による草丈観測と熱収支変動
- P409 河合 克仁 (防衛大地球海洋) 庄内平野における降雪雲パターンと地上ガストの関係
- P410 嶋田 宇大 (北大院環境) エネルギー収支と渦位から見た日本海Polar Lowの発達メカニズム
- P411 藤吉 康志 (北大低温研) 「オホーツク海沿岸帯状雲」のレーダーエコー特性 (1)
- P412 縄田 恵子 (筑波大自然科学類) WRFを用いた首都圏の降水シミュレーション —都市の降水へのインパクト調査—
- P413 道本 光一郎 (防衛大) 北関東における夏季雷雲の総合観測SKATE2008 (結果概要)
- P414 東 邦昭 (神大院理) 梅雨後期の近畿地方における線状降水帯形成に見られるマルチスケールの様相
- P415 宮川 知己 (東大気候システム) NICAMのMJO(2006年12月)事例におけるレインバンドの走向別分布およびレインバンドに伴う運動量輸送の解析
- P416 関 隆則 (気象予報士会) 強度・順位分布による降水パターンの検討
- P417 古川 悠也 (弘前大理工) クラスタ解析による梅雨前線帯(BFZ)と南大西洋収束帯(SACZ)の雲の研究
- P418 岡崎 麻佑 (東北大院理) 過去60年間の爆弾低気圧に関する統計
- P419 小柴 美香 (東北大院理) JRA-25/JCDASを用いた日本付近において急激に発達する温帯低気圧に関する長期解析
- P420 大塚 道子 (首都大都市環境) 区内観測降水量データを用いた日本中部における降水長期変動の解析
- P421 川合 秀明 (気象庁気候情報) 海洋性境界層雲の鉛直積算雲水量の確率密度分布 Part II: 総水混合比の関数形及び、降水過程・放射過程への影響
- P422 高橋 真司 (筑波大院生命環境) 夏季における北極低気圧と温帯・熱帯低気圧の力学的・統計的比較
- P423 金浜 貴史 (気象大) 日本に冷夏・暑夏をもたらす循環場の経年変動
- P424 岡山 仁 (富山大理) 夏季アジアモンスーン循環とエルニーニョ・南方振動の相互作用に見られる近年の特徴について
- P425 野津 雅人 (地球研) Improvement of daily gridded precipitation data using synoptic observation data over Iran
- P426 原田 やよい (CPD/JMA) 2009年1月から2月にかけて発生した北半球成層圏大規模突然昇温について (速報)
- P427 山中 吾郎 (気象研) 大気海洋結合モデルに対する海洋短波吸収スキームのインパクト
- P428 長屋 幸一 (富山大理) 気象庁1ヶ月アンサンブル予報ハインドキャストデータを用いた夏季日本の異常気象の予測可能性について
- P429 山田 洋平 (JAMSTEC/FRCGC) 全球雲解像モデルを用いた温暖化想定実験における熱帯低気圧の変化
- P430 高田 久美子 (JAMSTEC/FRCGC) 全球気候モデルにおける積雪サブグリッド被覆率スキームの改良

- P431 立入 郁 (FRCGC) GCMデータを利用した簡略気候モデルと陸域植生モデルの”緩やかな”結合
- P432 福井 秀典 (筑波大院生命環境) モンゴル半乾燥地域における陸面モデルの検証
- P433 紺屋 恵子 (IORGC) モンゴル・アルタイ、Potanin氷河周辺の気象条件 — 季節変動
- P434 吉野 純 (岐阜大院工) 台風強度に対する風の鉛直シアの影響に関する感度実験
- P435 仲江川 敏之 (気象研) JMA/MRI 結合モデル季節予測実験で再現された台風の気候値
- P436 北畠 尚子 (気象研) 台風0813号のアウトターバンドとその中上層の環境
- P437 山本 真之 (京大生存研) インドネシア・スマトラ島における下部対流圏の風速変動 — 赤道大気レーダーとNCEP/NCAR再解析データの比較—
- P438 山根 悠介 (京大次世代ユニット) バングラデシュにおける大気環境場の季節変化
- P439 江口 菜穂 (環境研) 2007年南半球突然昇温時の熱帯での絹雲・対流活動について
- P440 坂本 雅巳 (気象庁数値予報課) 気象庁現業全球4DVarでの観測誤差の推定
- P441 津田 敏隆 (京大生存研) Retrieval of High Vertical Resolution Atmospheric Profiles from GPS Radio Occultation Measurements
- P442 瀬古 弘 (気象研) Data assimilation experiments of 'YAMASE' using GPS RO data